

行政機関に従事する保健師に期待される実践能力に関する研究

～デルファイ法を用いて～

オオクワ ミカ
大倉 美佳*

目的 行政機関に従事する保健師に対して専門家から期待される、経験年数ごとの非常に重要な実践能力を明確にすることを目的とした。

方法 専門家の意見を集約するためデルファイ法を用いた。専門家は、保健師免許を有し、次の条件を満たす者を教育、管理、実践の分野から選定した。教育分野は看護系大学地域看護学教授。管理分野は都道府県・政令指定都市の保健師集団における最上位の職位で、管轄内の保健師を統括・指導・管理している者。実践分野は行政機関での保健師経験年数10年以上で、1人以上の後輩を指導する立場で、効果的な保健師活動の実践者の条件を満たし、管理分野の専門家より推薦された者。選定基準に一致した209人の専門家に調査協力を依頼した。

第1回調査は、知識、技術、態度を枠組みとし、保健師に重要な実践能力の列举を依頼した。第2回調査は、経験年数4区分ごとに第1回調査の回答から抽出された各実践能力に対する重要度を尋ねた。第3回調査は、第2回調査結果に同意できるか否かを尋ね、合意の基準を同意率90%と設定した。

結果 参加同意者は63人（教育分野14人、管理分野23人、実践分野26人）、回答数は第1回調査63人、第2回調査52人、第3回調査44人であった。

本研究の結果、7領域、47項目の経験年数ごとに重要な保健師の実践能力が明らかになった。

7領域とは看護過程展開能力、地域保健活動展開能力、ヘルスケア提供能力、マネジメント能力、情報活用能力、対人関係形成能力、豊かな人間性である。

非常に重要な実践能力は、①1～3年ではヘルスケア提供能力、豊かな人間性の2領域の4項目、②4～10年では看護過程展開能力、地域保健活動展開能力、ヘルスケア提供能力、情報活用能力、豊かな人間性の5領域の10項目、③11～20年では7領域すべての36項目、④21年以上では情報活用能力を除く6領域の31項目であった。すべての経験年数にヘルスケア提供能力と豊かな人間性が期待されている。

結論 経験を積むに従い、基本的看護ケアから地域活動の展開、管理的能力へと段階的に広く高度な能力が要求されている。

Key words : 保健師, 実践能力, 経験年数, デルファイ法, 専門家, 行政機関

* 金沢大学医学部保健学科看護学専攻地域看護学講座

連絡先：〒920-0942 石川県金沢市小立野 5-11-80
金沢大学医学部保健学科看護学専攻地域看護学講座 大倉美佳